

① ガス熱量変更準備金の損金算入に関する明細書

事業年度又は連結事業年度 : : 法人名 ( )

別表十二(七) 平十八・四・一以後終了事業年度又は連結事業年度分

熱量変更計画に関する事項	熱量変更計画の名称	1		翌 期 繰 越 の 計 算	期首ガス熱量変更準備金の金額	13	円				
	熱量の変更に着手する日	2	平 . . (平 . .)		当期	累計支出額に係る益金算入額の計算	累積支出額 (30)の計	14			
							$(14) \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{60}$	15			
	熱量の変更の完了する日	3	平 . .		当期	繰越	(14)のうち当期償却額 (31)の計	16			
							$(16) \times \frac{1}{2}$	17			
	当期積立額				4	円	繰越	累計	累積支出額に係る益金算入額 (15)と(17)のうち多い金額	18	
	積立限度額の計算	熱量変更費用見積額	5			の	算	同上以外の場合による益金算入額	19		
		累積限度額 $(5) \times \frac{1}{2}$	6					計 (18) + (19)	20		
		積立限度額 $(6) \times \frac{1}{60}$	7					当期積立額のうち損金算入額 (4) - (8)	21		
	積立限度超過額 (4) - (7)				8		差引ガス熱量変更準備金の金額 (13) - (20) + (21)	22			
	累積限度超過額の計算	差引ガス熱量変更準備金の金額 (22)	9			貸借対照表の金額との差額の明細	当期分	累積限度超過額 (11)	23		
		累積限度額 (6)	10					貸借対照表に計上されているガス熱量変更準備金	25		
累積限度超過額 (9) - (10)		11		差引 (25) - (24)	26						
限度超過額合計 (8) + (11)			12		当期分	$(20) - ((4) - ((25) - \text{前期の}(25)))$	27				
					前前期分	当期に生じた差額の合計額 (12) + (27)	28				
					前前期分	前期末における差額 (前期の(26))	29				
<b>累 積 支 出 額 等 の 計 算</b>											
事業年度又は連結事業年度	熱量変更費用支出額	左のうち当期償却額		前期以前償却額	未償却残高 (30) - (31) - (32)						
	30	31		32	33						
. .	円	円		円	円						
. .											
. .											
. .											
. .											
当期分											
計											

## 別表十二（七）の記載の仕方

- 1 この明細書は、青色申告書を提出する法人でガス熱量変更準備金を積み立てているガス事業法第2条第1項（定義）に規定する一般ガス事業（以下「一般ガス事業」といいます。）を営むものが、平成18年改正措置法附則第109条第6項（ガス熱量変更準備金に関する経過措置）の規定によりなおその効力を有するものとされる平成18年改正前の措置法第56条の2（ガス熱量変更準備金）の規定の適用を受ける場合又は連結法人で一般ガス事業を営むものが平成18年改正措置法附則第135条第6項（ガス熱量変更準備金に関する経過措置）の規定によりなおその効力を有するものとされる平成18年改正前の措置法第68条の49（ガス熱量変更準備金）の規定の適用を受ける場合に記載します。

なお、平成16年4月1日以後に開始する事業年度にあっては、当該法人のガスの供給区域におけるガスメーターの取付数が50万個を超える一般ガス事業を営むものは適用の対象となりません。

また、この明細書は、熱量変更計画ごとに用紙を改めて記載します。

連結法人については、適用を受ける連結法人の法人名を「法人名」のかっこの中に記載してください。
- 2 「熱量変更計画の名称1」には、平成6年4月1日から平成18年3月31日までの間に行われたガス事業法第25条第1項又は第2項の規定による届出に係る熱量変更計画の名称を記載します。
- 3 「熱量の変更に着手する日2」には、熱量変更計画が定められているガスの供給計画に定められたその熱量変更に着手する日を記載します。

また、「（平・・）」には、熱量変更に着手する日から「熱量の変更の完了する日3」に記載する日（熱量変更完了予定日といいます。）までの期間が2年を超える場合に、その熱量変更完了予定日の1年前の日を記載します。
- 4 「熱量の変更の完了する日3」には、熱量変更計画に係る熱量変更の完了する日を記載します。
- 5 「当期積立額4」には、法人が当期において損金経理又は確定した決算において利益処分によりガス熱量変更準備金として積み立てた金額を記載します。
- 6 「積立限度額の計算」の各欄は、次により記載します。
  - (1) 「熱量変更費用見積額5」には、法人の申請に基づき、熱量変更費用の見積額として経済産業大臣又は経済産業局長が認定した金額を記載します。
  - (2) 「積立限度額(6)× $\frac{1}{60}$ 7」の分子には、当期の月数を記載します。

この場合、その月数に1月末満の端数があるときは、これを切り上げます。
- 7 「翌期繰越額の計算」の各欄は、次により記載します。
  - (1) 「期首ガス熱量変更準備金の金額13」には、当期首現在の税務計算上のガス熱量変更準備金の金額を記載します。
  - (2) 「(14)× $\frac{1}{2}$ × $\frac{1}{60}$ 15」の分子には、当期の月数を記載します。

この場合、その月数に1月末満の端数があるときは、これを切り上げます。
  - (3) 「当期益金算入額」の「同上以外の場合による益金算入額19」には、当期が熱量変更完了予定日の翌日から4年を経過する日を含む事業年度又は連結事業年度である場合において前期から繰り越されたガス熱量変更準備金の金額を益金算入するとき等に、その金額を記載します。
- 8 「累積支出額等の計算」の各欄は、次により記載します。
  - (1) この欄は、ガス熱量変更準備金の積立額の損金算入の適用を受けた法人が、熱量変更費用を支出したことによる益金算入額を計算する場合に記載します。
  - (2) 「熱量変更費用支出額30」には、当期及び当期首前4年以内に開始した事業年度又は連結事業年度において支出された熱量変更費用の額を記載します。
  - (3) 「左のうち当期償却額31」には、「熱量変更費用支出額30」のうち当期の所得の金額の計算上損金の額に算入された金額を記載します。
  - (4) 「前期以前償却額32」には、「熱量変更費用支出額30」のうち前期以前の所得の金額の計算上損金の額に算入された金額を記載します。